





【データ作成時の注意事項】

片面1色のフレキシ印刷です。袋にハンコを押すようなイメージです。


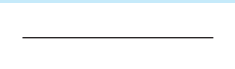



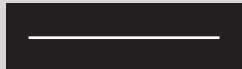
- データは黒色(K100)と白(K0)で作成して下さい。(印刷色の指定は、ご注文時で大丈夫です。) 100%以下の半調やグラデーションは印刷出来ません。

| | |
|--|--|
| <p>※必ず100%の色で作成して下さい。</p>  <p>アミ掛け処理 (線数30を推奨)</p> | <p>※半調やグラデーションは印刷出来ません。</p>  <p>半調(50%・20%) グラデーション 2色以上を使用したデータ</p> |
|--|--|

- 文字サイズは8pt以上を推奨しています。※太文字、画数の多い文字はつぶれることがあります。使用されるフォントによって推奨ptは異なりますが、特にベタに白抜き文字の場合は、小さな文字は印刷つぶれになります。

| | | | |
|---|---|--|---|
|  <p>印刷通販の刷りエール (8pt以上)</p> |  <p>印刷通販の刷りエール (6pt) 文字が小さすぎて 印刷つぶれになる</p> | <p>印刷通販の刷りエール (太い文字で8pt) 画数が多い文字が 印刷つぶれになる</p> | <p>印刷通販の刷りエール (白抜き文字で8pt) 白抜き文字が 印刷つぶれになる</p> |
|---|---|--|---|

- 線の太さは0.5mm以上を推奨しています。それより細い線は印刷が欠ける場合がございます。特にベタに白抜き線の場合は、印刷つぶれになります。白抜き線の場合は、1.5mm以上の太さで作成して下さい。

| | |
|--|--|
|    <p>(0.5mm以上) 白抜き (1.5mm以上)</p> |    <p>(0.3mm) 白抜き (0.5mm)</p> |
|--|--|

- ベタ塗り面積が大きいものは、印刷ムラになる可能性があります。
- 印刷範囲内に、プラマークが入ります。プラマークは版サイズ内でしたら移動可能です。巾6mmまで縮小可能です。デザイン内容によっては、弊社でプラマークの位置を移動させて頂く場合がございます。



※保存形式は「psd」をお願いいたします。

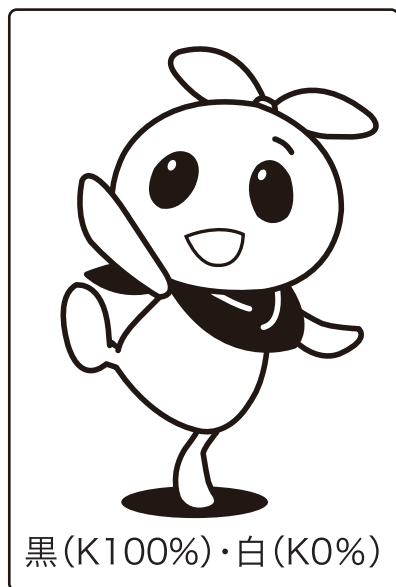
※デザインが出来上がりましたら、「※説明※統合前に削除して下さい」のレイヤーは削除して、全てのレイヤーを統合して下さい。不要なチャンネルは削除してください。

※解像度は350～600dpi、グレースケールで作成してください。

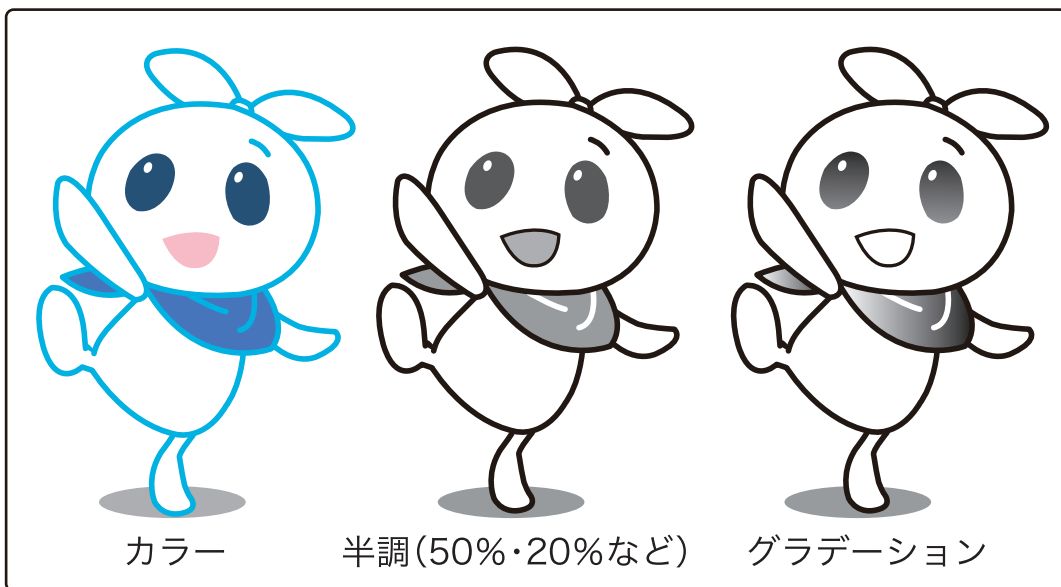
●データの良い点・悪い点●

データは必ず、黒色(K100%)と白(K0%)で作成して下さい。(印刷色の指定は、ご注文時にいただきます)
100%以下の半調(50%や20%など)やグラデーションは印刷出来ません。

○ 良い例

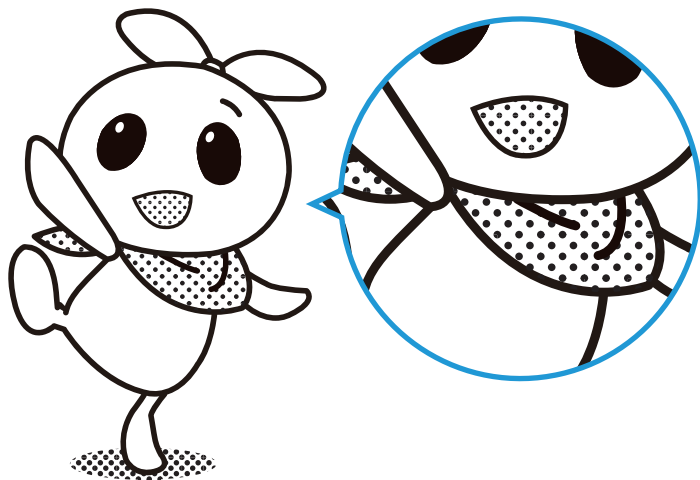


✕ 悪い例



色の濃淡やグラデーションにしたい部分は、
右図のようにアミ掛け処理を行って下さい。

※線数30を推奨



●Photoshopでのアミ掛け処理の方法●

色の濃淡(半調部分)やグラデーションにしたい部分は、アミ掛け処理をお願いいたします。

1 色の濃淡の表現は、**黒色(K40%以下)**に設定します。



※K50%以上に設定されますと、アミ掛け処理後に、アミ点とアミ点の間隔が狭くなり、印刷つぶれの原因になりますので、ご注意ください。

2 「イメージ」→「モード」→「モノクロ2階調」で、種類を「ハーフトーンスクリーン」に設定します。
※線数は30が推奨です。それ以上細くなると、印刷潰れの原因になります。

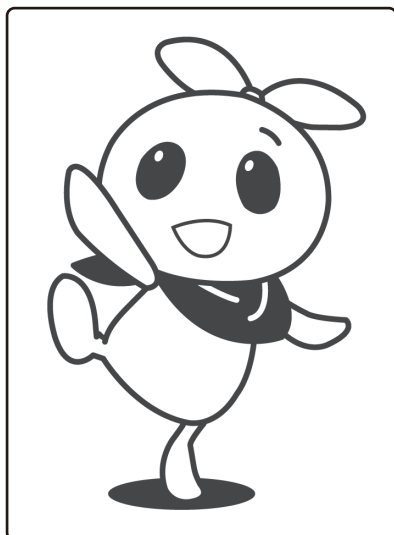


●解像度は350～600dpiを推奨●

Photoshop (PSD) データの解像度は600dpiで作成してください。

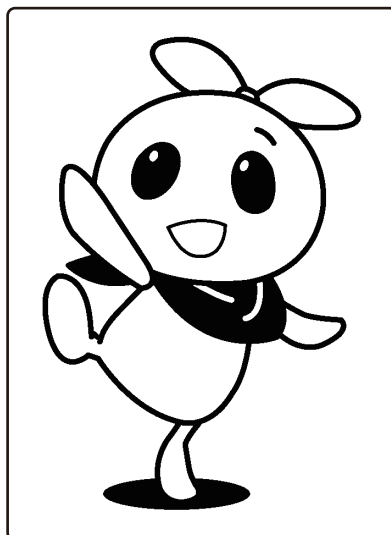
○ 良い例

元データ

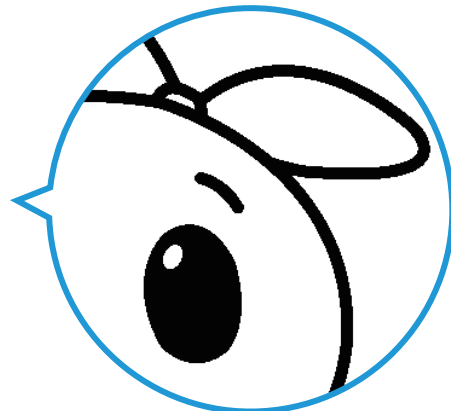


解像度600dpi
(350dpi以上を推奨)

テンプレートに当てはめると…



そのまま印刷可能な
データに仕上がります。

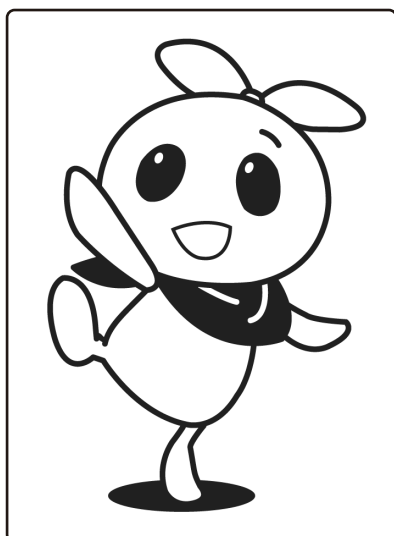


解像度350dpi以上の場合は、
キレイな線のままで印刷が可
能です。

✕ 悪い例

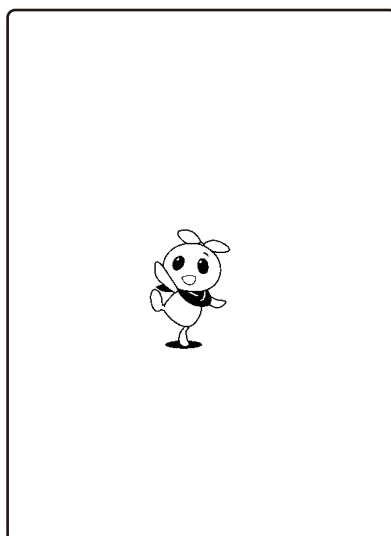
Web用画像(72dpi)などは画像が粗いため、そのままでは使用できません。

元データ



解像度72dpi
(Web用画像など)

テンプレートに当てはめると…



小さくなります。
(元データが小さい為)

テンプレートサイズに
拡大すると…



ぼやけてしまい、
印刷できません。

※解像度だけを変更(例:解像度72dpi→解像度600dpiに変更)しても、
画質は粗いままでですのでご注意ください。

●印刷イメージの確認方法●

出来上がったデザインデータを印刷した場合のイメージは、下記の方法でご確認いただけます。

※使用する元画像が、解像度の低い画像(解像度72dpiをテンプレートに貼り付けた)の場合を想定しています。

<使用したい画像データ>

解像度72dpi

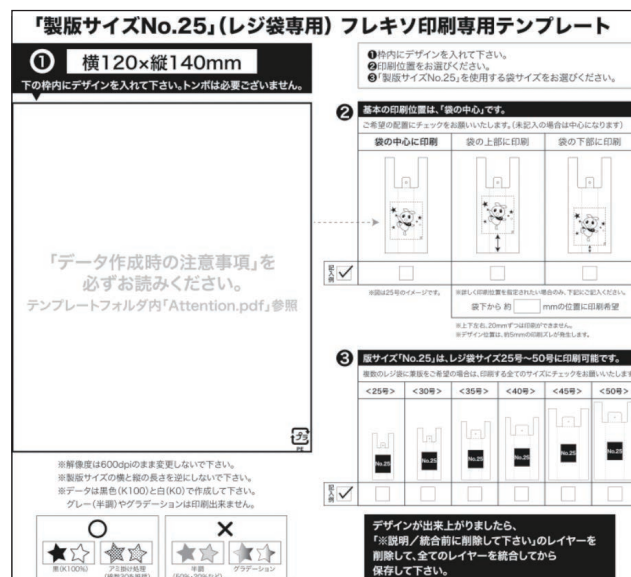


テンプレートに
当てはめて
製版サイズに拡大します。

※インターネットで見れるWEB用画像の多くは
解像度が72dpiですので、
印刷用データには向きません。

<専用テンプレート>

解像度600dpi



- 1 「イメージ」→「モード」→「モノクロ2階調」を選択し、「OK」をクリックして、表示レイヤーを統合します。



- 2 設定は「600pixel/inch」・「50%を基準に2階調に分ける」にして、「OK」をクリックします。



3 2階調化されたデータが、印刷のイメージになります。

※元画像データが低いものを使用すると、下の画像のようにガタガタの線になったり、細い線が消えたりします。使用される画像は、解像度350dpi以上のものを推奨いたします。



※解像度が72dpiでも、デザインのサイズ自体が大きなもの（例：巾が2000px以上ある）をテンプレートの製版サイズに当てはめる場合は、2階調化してもガタガタの線にはならず、そのまま使用できる場合がございます。

※また、解像度が350dpi以上あっても、デザインのサイズ自体が小さいもの（例：巾が100px以下）をテンプレートの製版サイズに当てはめる場合は、2階調化するとガタガタの線になることがありますので、ご注意ください。

お持ちのデータをテンプレートに当てはめて頂き、2階調化してご確認いただくことをオススメいたします。